

2026年5月13日



# 2026年3月期 決算説明資料

(2025年4月～2026年3月)

**ikomatsumateRe**

小松マテーレ株式会社

**1) 2026年3月期 決算の概要**

2) 2027年3月期 業績見通し

3) 中計KFW2026 進捗状況

# 2026年3月期 決算概要

(単位：百万円)

項目	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増 減	
			金額	増減率 (%)
売上高	39,526	<b>41,563</b>	2,036	5.2
営業利益	2,181	<b>2,502</b>	321	14.7
経常利益	2,838	<b>3,208</b>	369	13.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,934	<b>1,500</b>	△1,433	△48.9

一株当たり純資産	998.19円	<b>1,042.52円</b>
一株当たり当期純利益	73.42円	<b>38.51円</b>

「親会社株主に帰属する当期純利益」の減益については、当社が保有する投資有価証券（非上場株式）の一部について、取得価額に比べ実質価額が大幅に下落したため、投資有価証券評価損1,232百万円を特別損失として計上しております。

期中平均為替 レート	USD	152.62円	<b>150.67円</b>
	EUR	163.88円	<b>174.64円</b>

# 連結業績のセグメント別内訳

(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前期実績	2026年 3月期 実績	増減		前期実績	2026年 3月期 実績	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	39,015	41,063	2,048	5.3	2,102	2,444	342	16.3
衣料ファブリック	29,030	29,628	598	2.1	2,000	2,250	250	12.5
資材ファブリック	8,556	8,806	250	2.9				
製品部門	1,429	2,630	1,201	84.0	102	194	92	90.2
その他の事業	511	499	△12	△2.3	79	58	△21	△26.6
合計	39,526	41,563	2,036	5.2	2,181	2,502	321	14.7

## <コメント>

### ●衣料ファブリック

北米ファッションや中東民族衣装が牽引したことにより、全体として増加。

### ●資材ファブリック

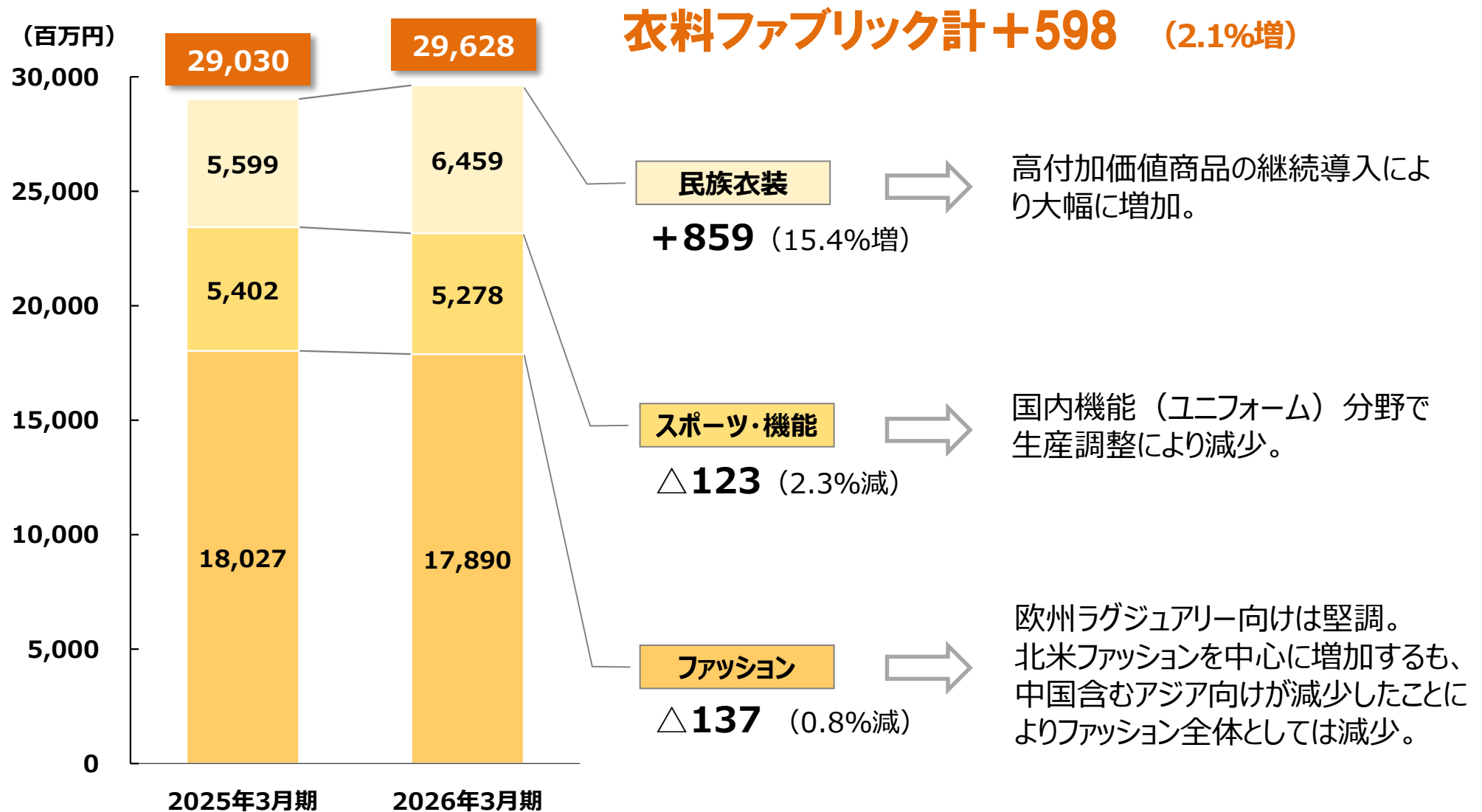
生活関連資材分野が大幅に増加し、全体として増加。

### ●製品部門

連結子会社化により事業範囲が拡大したことから増加。

# 繊維事業（衣料ファブリック部門）

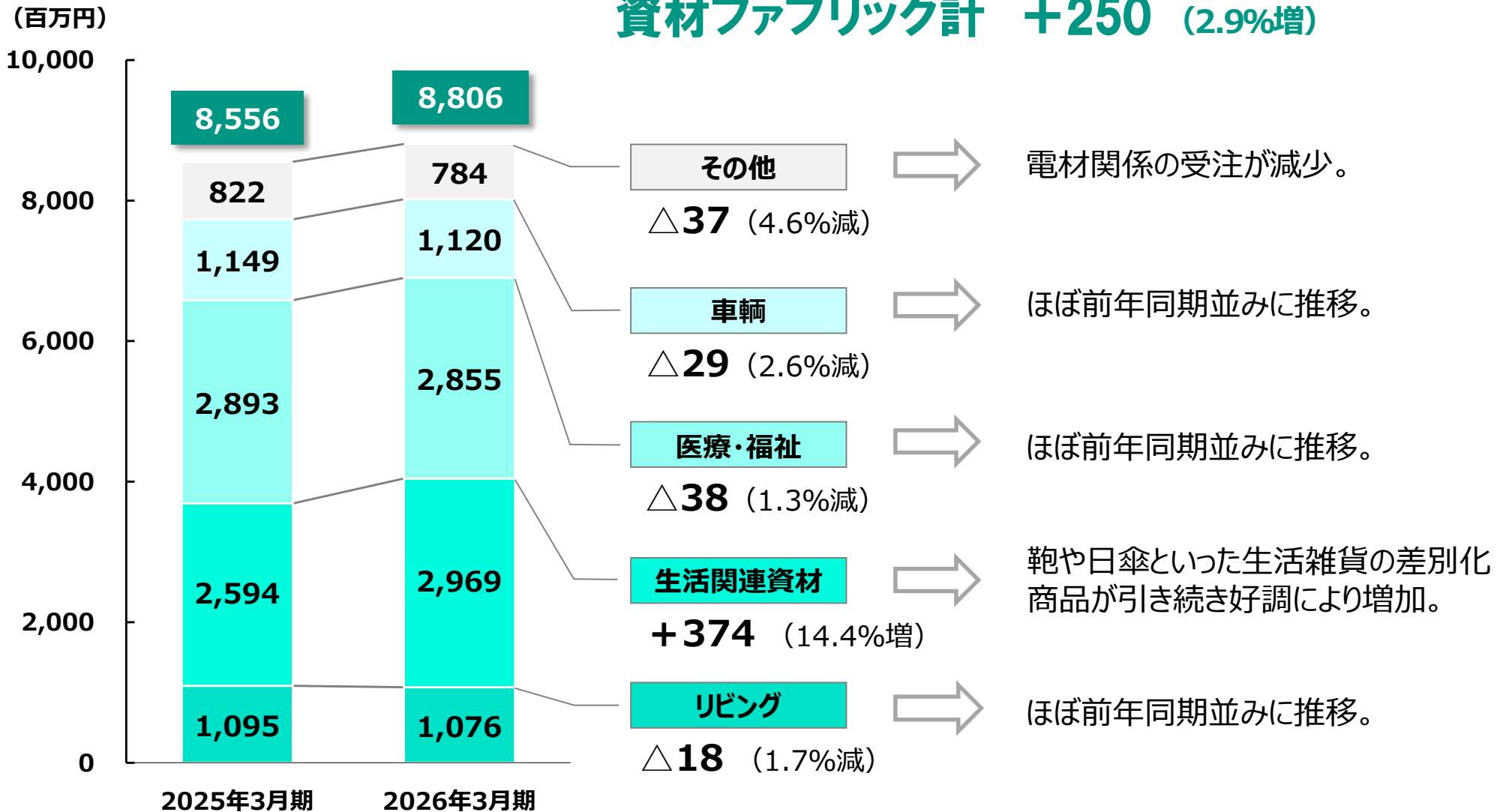
（単位：百万円）



# 繊維事業（資材ファブリック部門）

（単位：百万円）

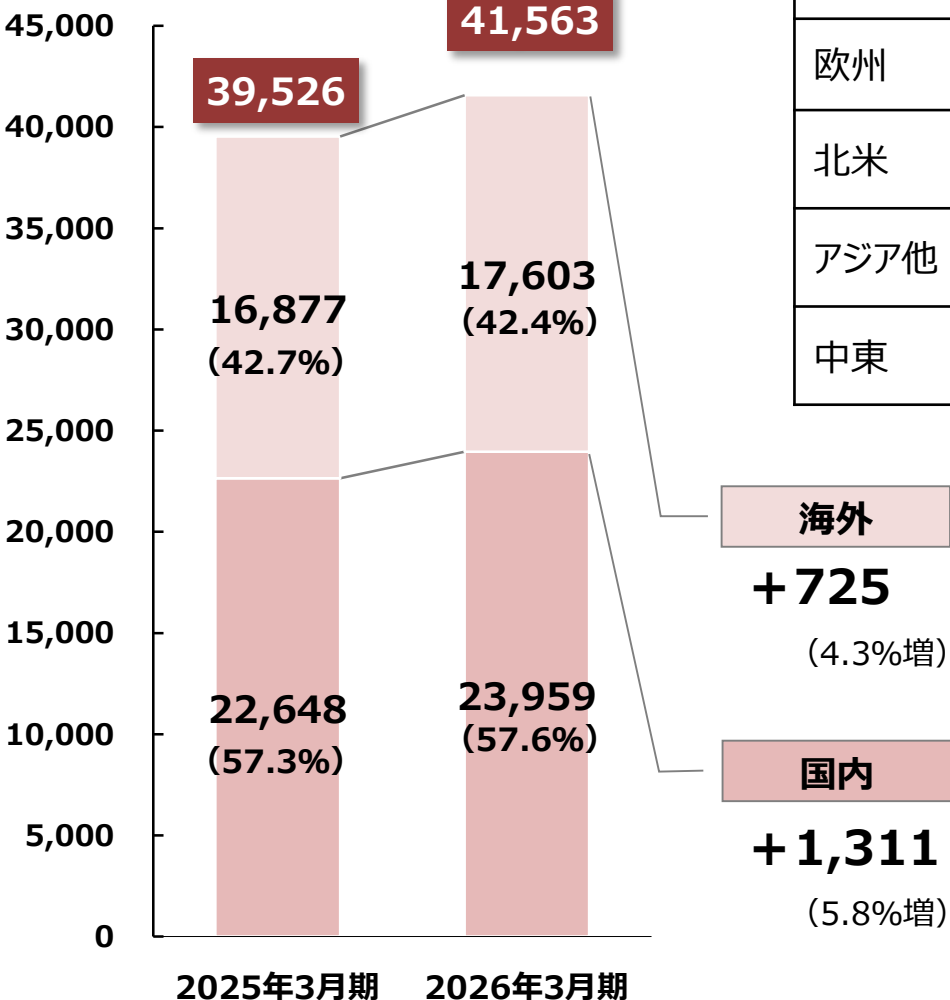
## 資材ファブリック計 +250 (2.9%増)



# 市場別売上高（国内・海外）

（単位：百万円）

（百万円）



	2025年 3月期	2026年 3月期	増減額	増減率 (%)
欧州	3,836	3,701	△135	△3.5
北米	5,086	5,677	591	11.6
アジア他	2,611	2,232	△378	△14.5
中東	5,343	5,991	647	12.1

## ＜コメント＞

### ● 海外市場

＜欧州＞ラグジュアリーブランド向けは堅調。  
スポーツ分野が減少。

＜北米＞米国・カナダ向けのファッションが引き続き増加。

＜アジア他＞中国向けカジュアルファッションが減少。

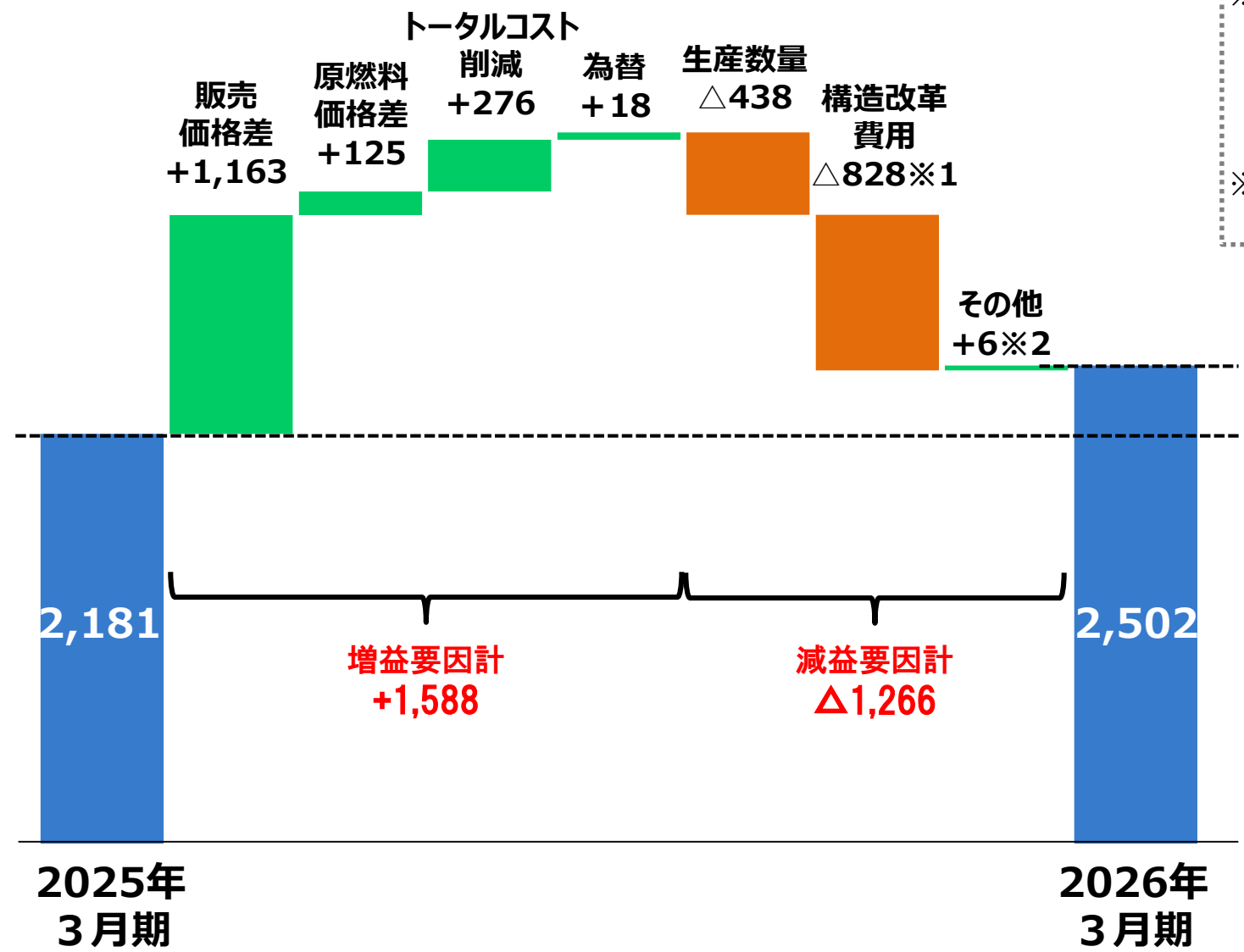
＜中東＞高付加価値商品の継続導入により増加。

### ● 国内市場

生活関連資材や製品部門が増加。

(単位：百万円)

※1 システム関連投資や、労働環境の改善・製造設備の整備、福利厚生面の充実のための費用を含んでおります。  
 ※2 新規連結子会社による増益分となります。



- 1) 2026年3月期 決算の概要
- 2) 2027年3月期 業績見通し**
- 3) 中計KFW2026 進捗状況

(単位：百万円)

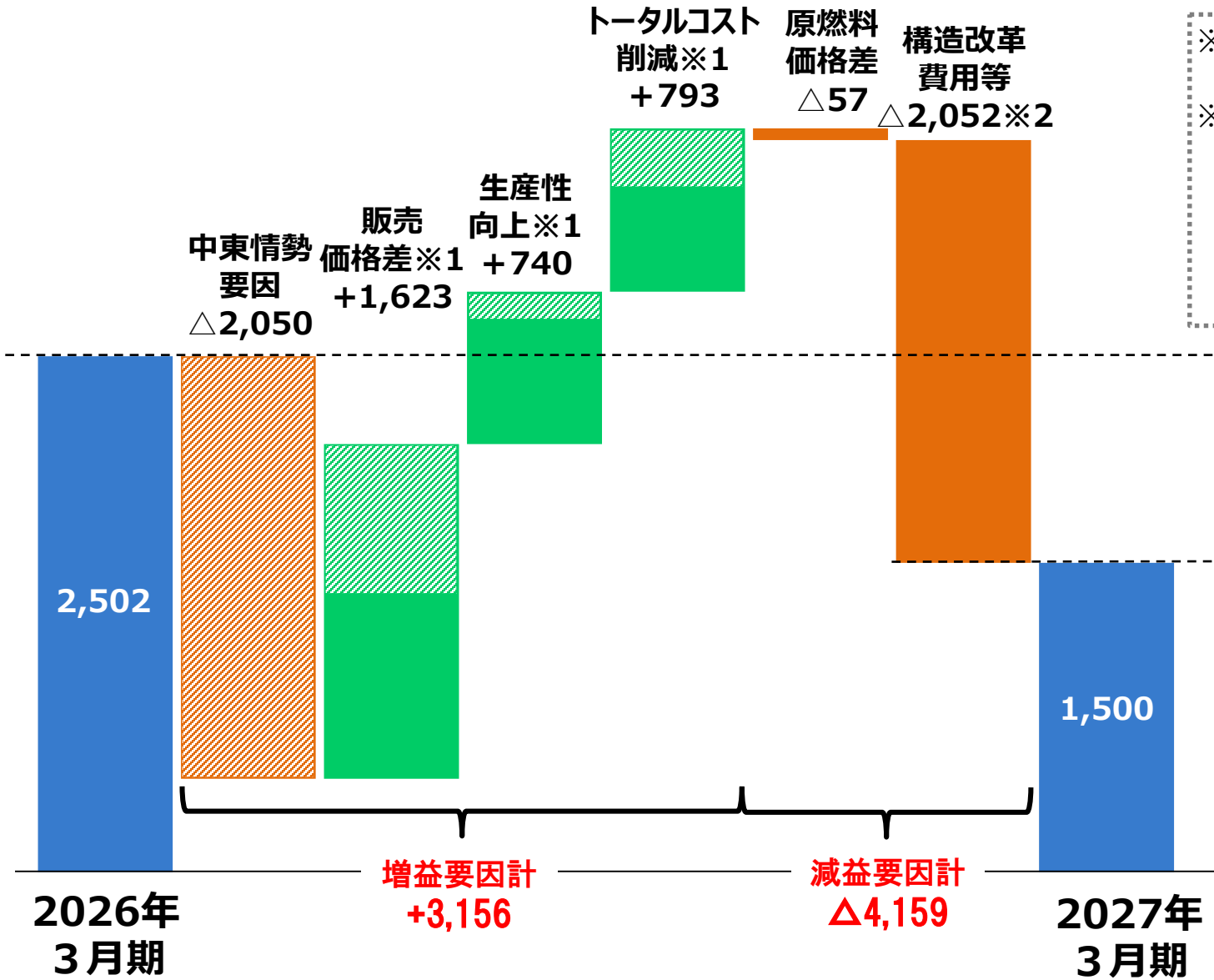
項目	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減	
			金額	増減率(%)
売上高	41,563	<b>42,000</b>	436	1.1
営業利益	2,502	<b>1,500</b>	△1,002	△40.1
経常利益	3,208	<b>2,300</b>	△908	△28.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	<b>2,000</b>	499	33.3

一株当たり当期純利益	38.51円	<b>52.46円</b>
------------	--------	---------------

期中平均 為替レート	USD	150.67円	<b>150.00円</b>
	EUR	174.64円	<b>175.50円</b>

(単位：百万円)

# 営業利益増減分析



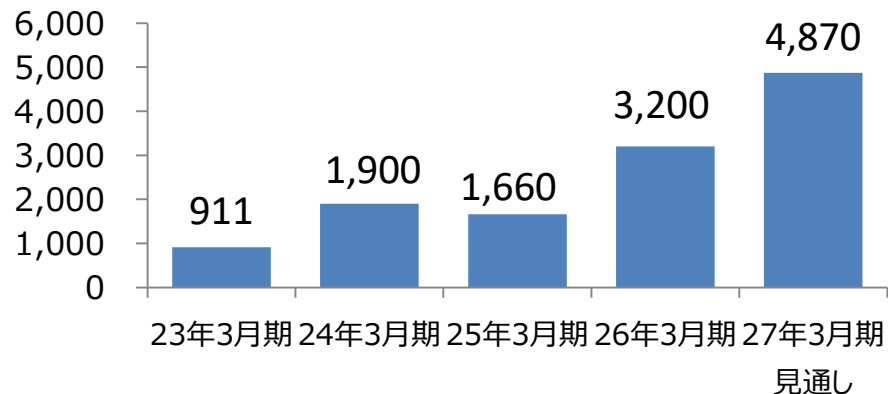
※1 斜線部は中東情勢の緊迫化に伴う、収益改善策となります。  
 ※2 原燃料及び電力使用量削減に向けた高効率設備の導入費用、DXの推進、製造環境整備や福利厚生面の充実といった基盤強化のための費用などを含んでおります。

前年同期比  
 $\Delta$  **1,002**

# 設備投資額・減価償却費推移

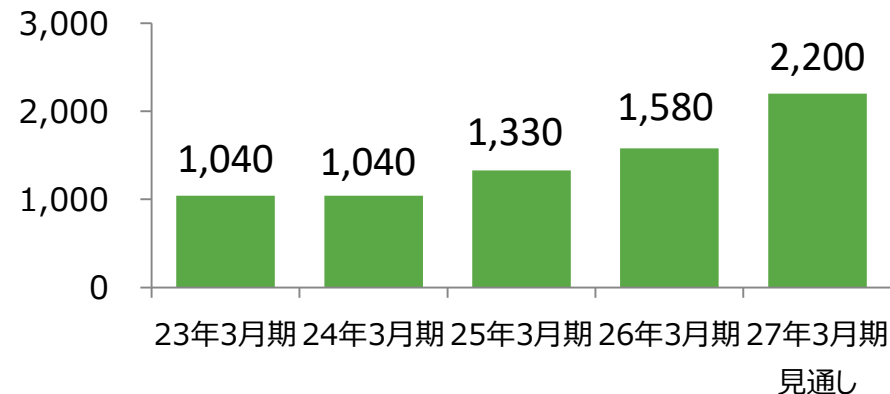
(百万円)

## 設備投資額



(百万円)

## 減価償却費



## 設備投資額 内訳

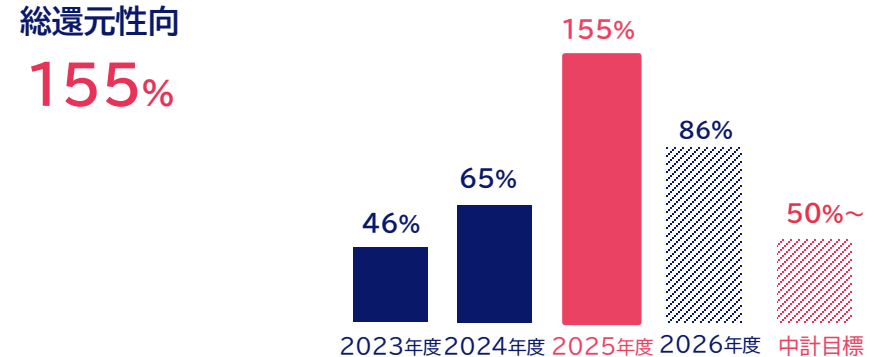
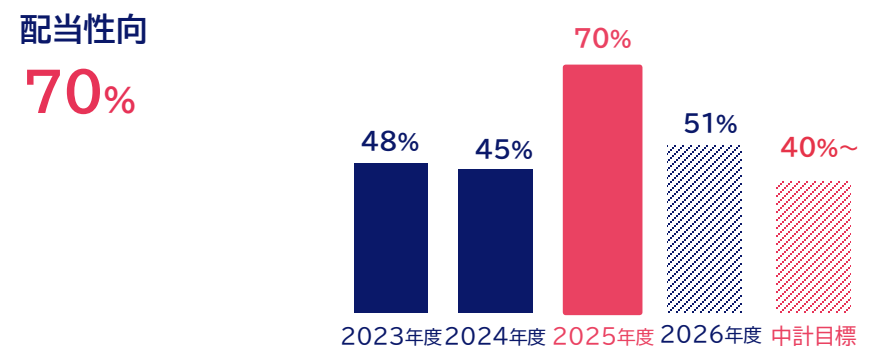
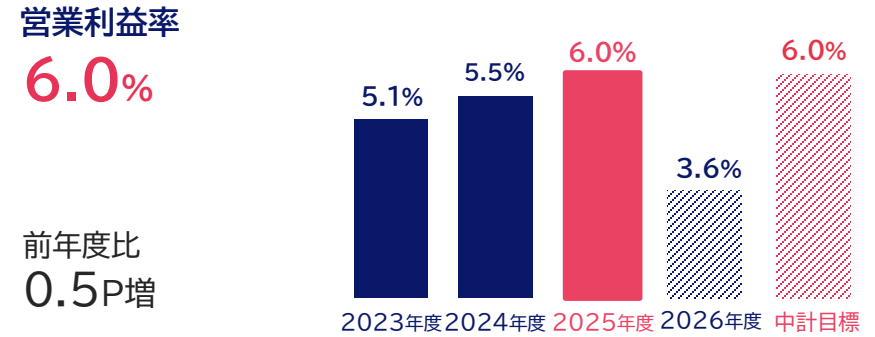
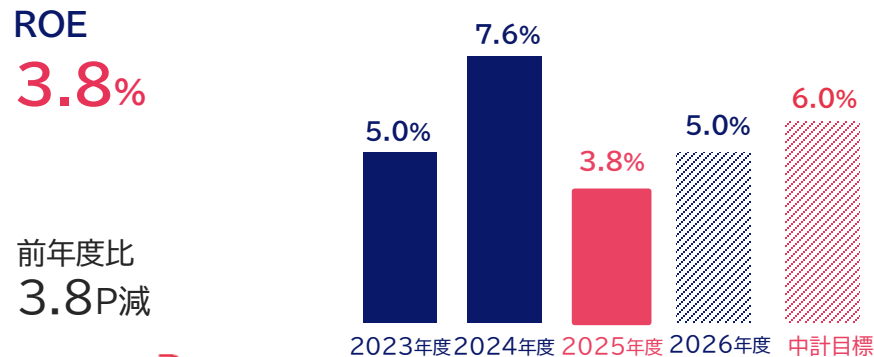
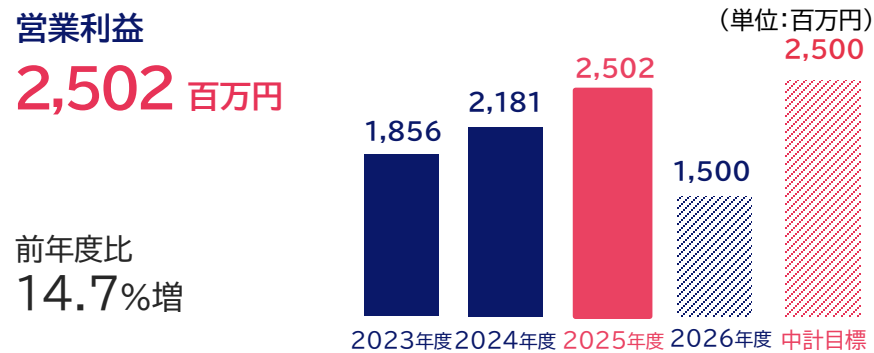
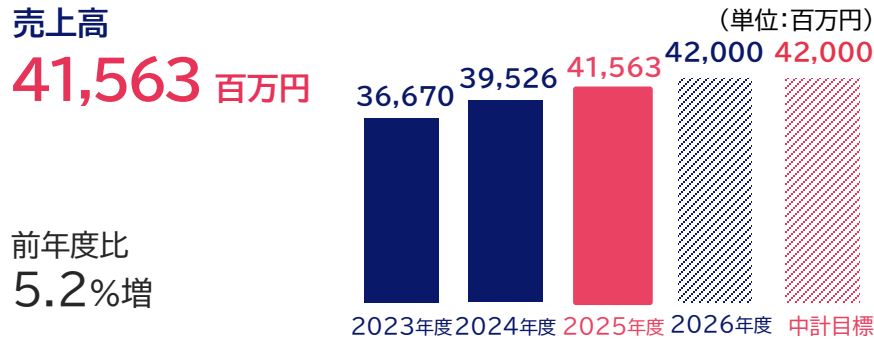
(単位：百万円)

項目	2026年3月期 実績	2027年3月期 見通し
製造関連投資	1,350	1,570
開発関連投資	110	320
環境関連投資	900	310
システム関連投資	230	2,580
その他	610	90
合計	3,200	4,870

- 1) 2026年3月期 決算の概要
- 2) 2027年3月期 業績見通し
- 3) 中計KFW2026 進捗状況**

# 中期経営計画の実績と数値目標

## 連結財務ハイライト



KFW-2026

## スローガン

Art in Technology

# 技術と感性で人々と社会をより豊かに

## 事業領域

1

海外事業の拡大  
ファッション衣料と非衣料分野

2

小松マテーレ式  
サステナブル  
商材・事業の推進

3

製品事業の推進

## 基盤強化

4

人材育成の強化と  
エンゲージメントの向上

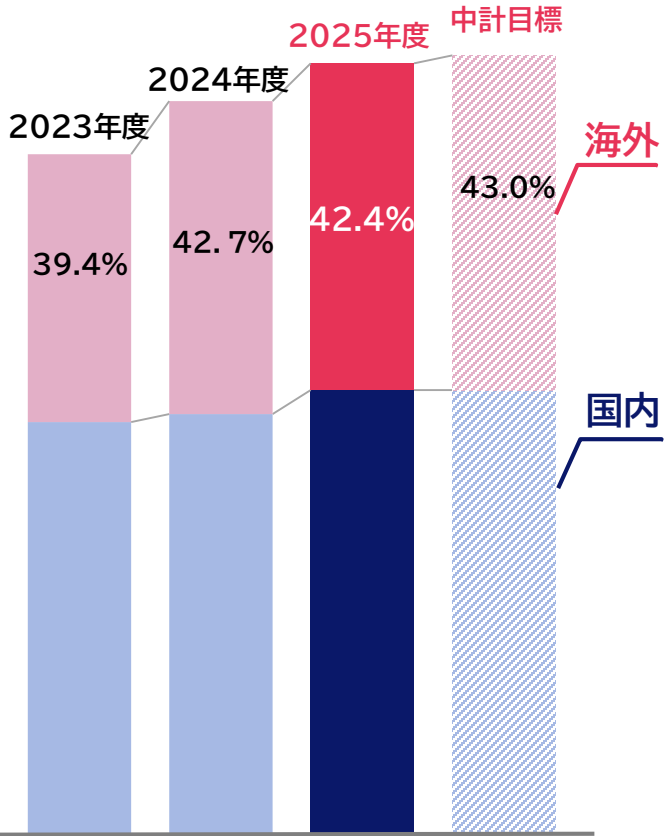
5

製造環境の整備、  
福利厚生面の充実

# 中期経営計画 事業課題進捗状況

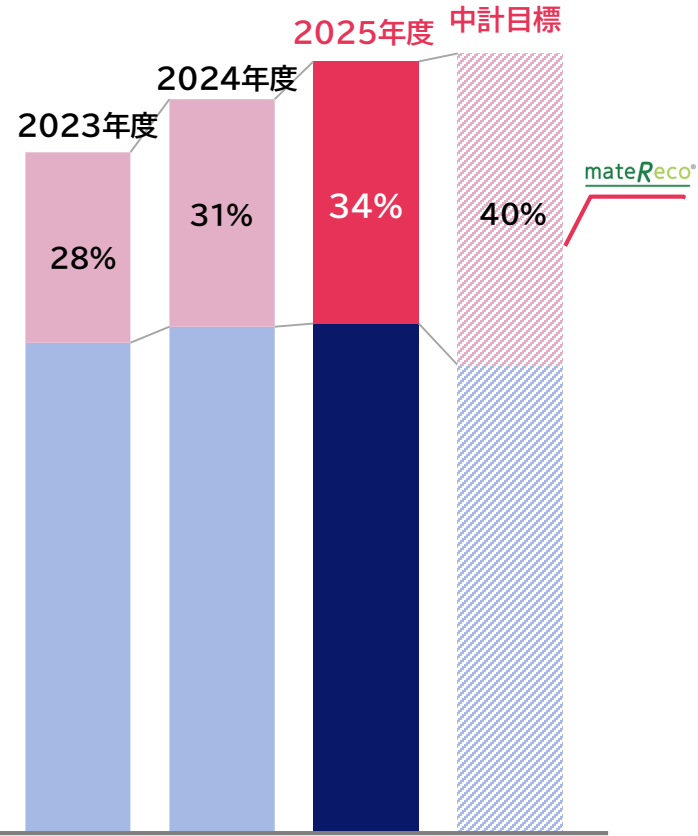
## 1 海外事業の拡大 ファッション衣料と非衣料分野

### 売上に占める国内・海外の比率



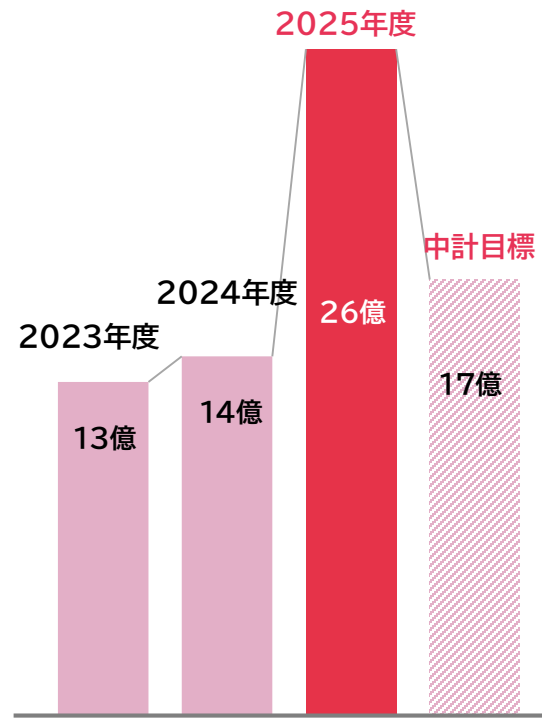
## 2 小松マテーレ式 サステナブル 商材・事業の推進

### 売上に占める環境配慮素材「mateReco®」の比率



## 3 製品事業の推進

### 製品部門の売上



# 中期経営計画 サステナブル素材開発への取組

## ① 素材開発への取組

非石油由来素材を有する企業の先端技術と自社の染色・高次加工技術を融合

→ 環境配慮型の高付加価値素材を創出

・染色・後加工技術による素材のポテンシャル最大化  
・風合い・発色・機能性の最適化

○Spiber株式会社  
Brewed Protein™ (人工構造タンパク質素材)



- ・石油・動物由来原料に依存しない新素材
- ・当社加工技術との融合により機能性・意匠性向上
- ・サステナブル素材として開発推進中

※2026年4月から新体制となったSpiber(株)とも関係を継続しております。

○Bioworks株式会社  
Plax™ (植物由来繊維)



- ・サトウキビ由来ポリ乳酸 + 植物由来添加物
- ・当社の染色高次加工により付加価値向上
- ・本年度より生産・販売拡大を推進

## ② 事業展開

サステナブル素材市場の取り込み  
高付加価値素材領域の拡大  
新規顧客・用途開拓

事業化の加速と中長期的な成長の実現を目指す

# 中期経営計画 環境共生素材の展開 1

## ○炭素繊維複合材料「カボコーマ・ストランドロッド」

### 素材概要

炭素繊維複合材（CFRTP）による軽量・高強度材料

### 環境価値

- ・軽量化 → 輸送・施工エネルギー削減
- ・高耐久 → 更新頻度低減・資源節約
- ・防錆 → メンテナンス負荷低減

### 最新動向

2026年：「炭素繊維撚り線を用いた耐震補強工法の開発」が  
2025年度繊維学会 技術賞受賞

2026年8月末～9月を目途に公的認証の取得に向けて進行中

工場の稼働を止めずにできる耐震補強工法として  
老朽化工場を中心に全国展開を目指す

# CABKOMA®



軽量  
(鉄の1/5)



引張に強い



錆びない



硬化後も  
熱変形可能



耐久性に  
優れる



温度による  
寸法変化が  
少ない

# 中期経営計画 環境共生素材の展開 2

## ○汚泥減容化バイオ製剤「ベリフォーマー」

### 素材概要

微生物技術を活用した汚泥減容化バイオ製剤

### 環境価値

- ・余剰汚泥を最大100%削減
- ・CO2排出削減（焼却不要）
- ・廃棄物削減

### 採用実績

前年対比 +31件(+129%)

55件 化学、食品、製薬、繊維会社や自治体

#### 【採用例】

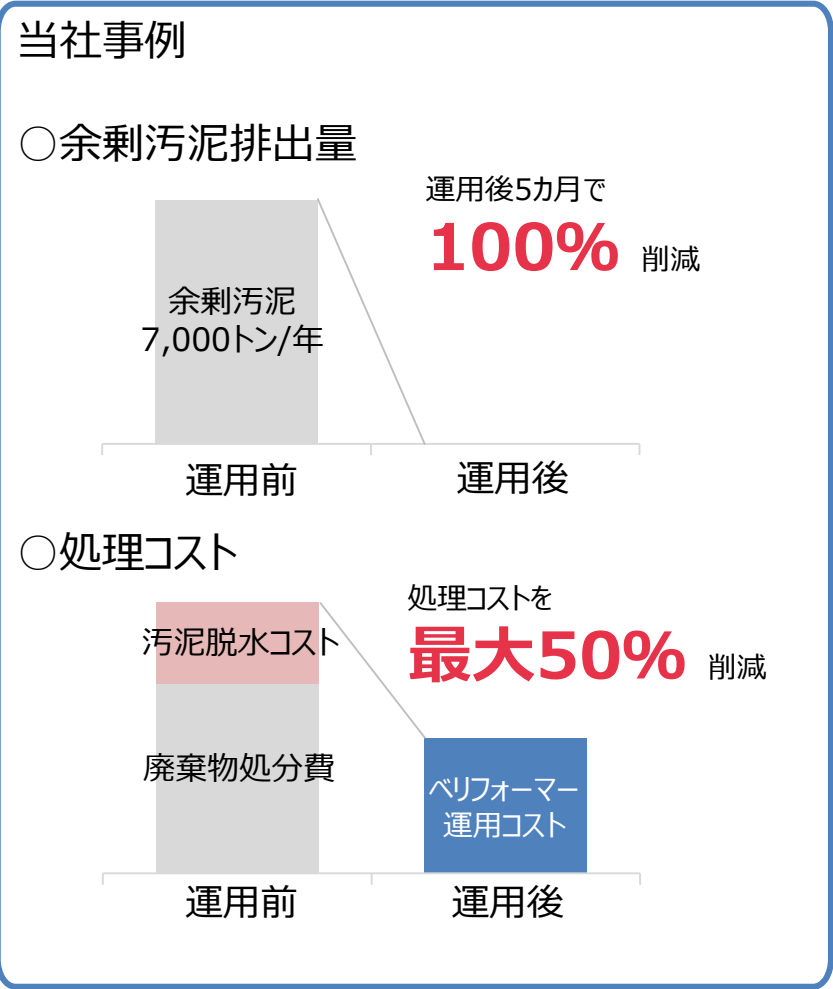
- ・東レ(株)三島工場 実機にて使用を開始
- ・カイハラ産業(株)本社工場(広島)

### 受賞実績

2025年：2025グッドデザイン・ベスト100

2026年：ものづくり日本大賞受賞

高い評価を受けたことを契機に、今後も事業拡大を図り、将来的には海外進出を目指す



## 市場課題

- ・過剰生産による**在庫ロス**
- ・売れ残りによる**廃棄問題**
- ・染色工程による**環境負荷**

必要な分だけを生産する仕組みが求められる

新たな技術に加え、  
新しいコンセプトを纏う新ブランド

# 「TINTORIANA (ティントリアーナ)」

当社の強みである染色加工技術と素材開発を融合させた製品染め技術



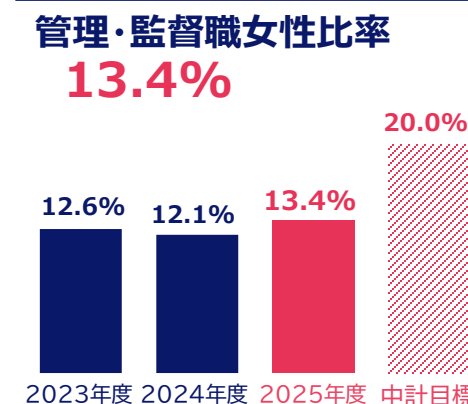
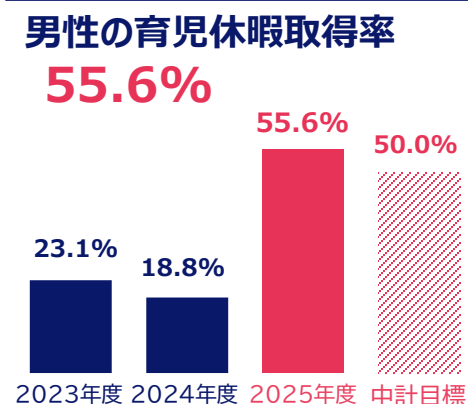
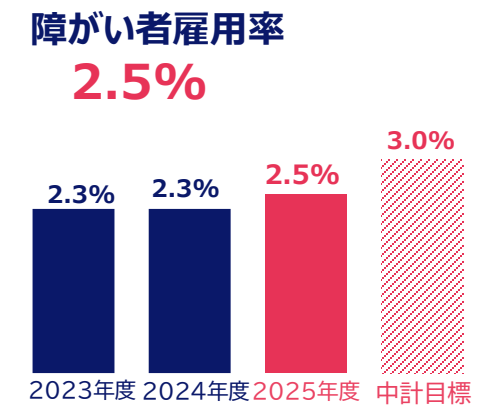
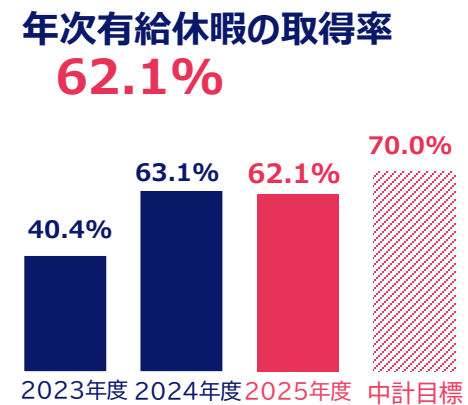
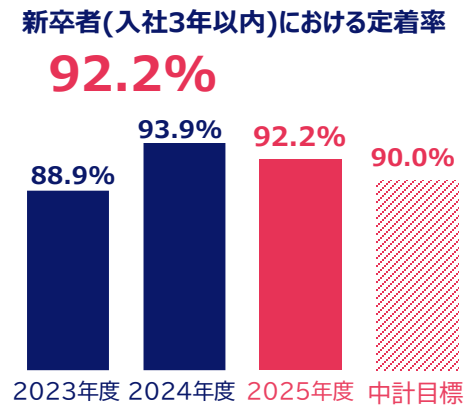
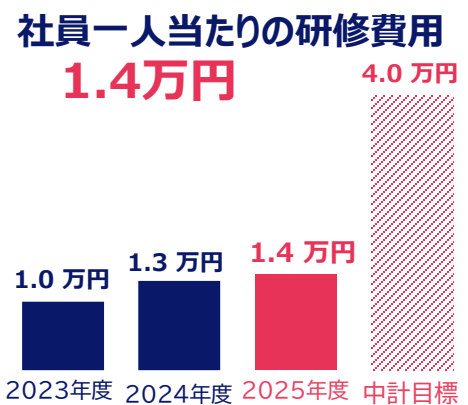
## 特徴

- ・イタリアの「ティントリア・エミリアーナ社」との長年の技術交流による製品染め独特の表情感、風合い、色彩表現
- ・製品完成後に染色
- ・小ロット対応可能

➔ 環境負荷低減 × 在庫リスク削減

# 中期経営計画 基盤強化課題 人的資本経営

## 4 人材育成の強化とエンゲージメントの向上



### 今年度取組

- 1. 人材開発**  
 企業力強化を目的とし、以下をはじめとした教育研修を充実
  - ・現場社員研修
  - ・女性社員向けキャリア研修
  - ・新入社員研修の刷新
- 2. 柔軟な働き方の推進**  
 ・男性育休、看護・介護休暇の取得への説明会の開催  
 ・従業員向けに子育て応援サイトを開設
- 3. 多様性・共生・尊重**  
 ・障がい者雇用の促進に向けて、就労支援会社と提携  
 ・母性保護についての管理職への説明会

# 中期経営計画 基盤強化課題 『factoRe100(ファクトーレ100)』

## ○ 工場の再編プロジェクト「factoRe100」

当社の工場は、長年にわたり日本の繊維産業を支えてまいりましたが、近年では設備の老朽化や生産体制の複雑化、人手不足といった課題が顕在化しております。こうした課題への対応に加え、創業100周年、さらにはその先の持続的な成長を見据え、国内製造拠点を次世代型の工場群へ再編するプロジェクト「factoRe100」を立ち上げました。

**プロジェクト名：**factoRe100

**完成予定：**2043年（創業100周年目途）

**総工費：**300億円～（現在見通し）



### <基本構想>

- 次世代素材や環境配慮型の生産
- 省人化・自動化
- DXの推進

### <次世代工場群の主な役割> ※生産性と環境価値の両立

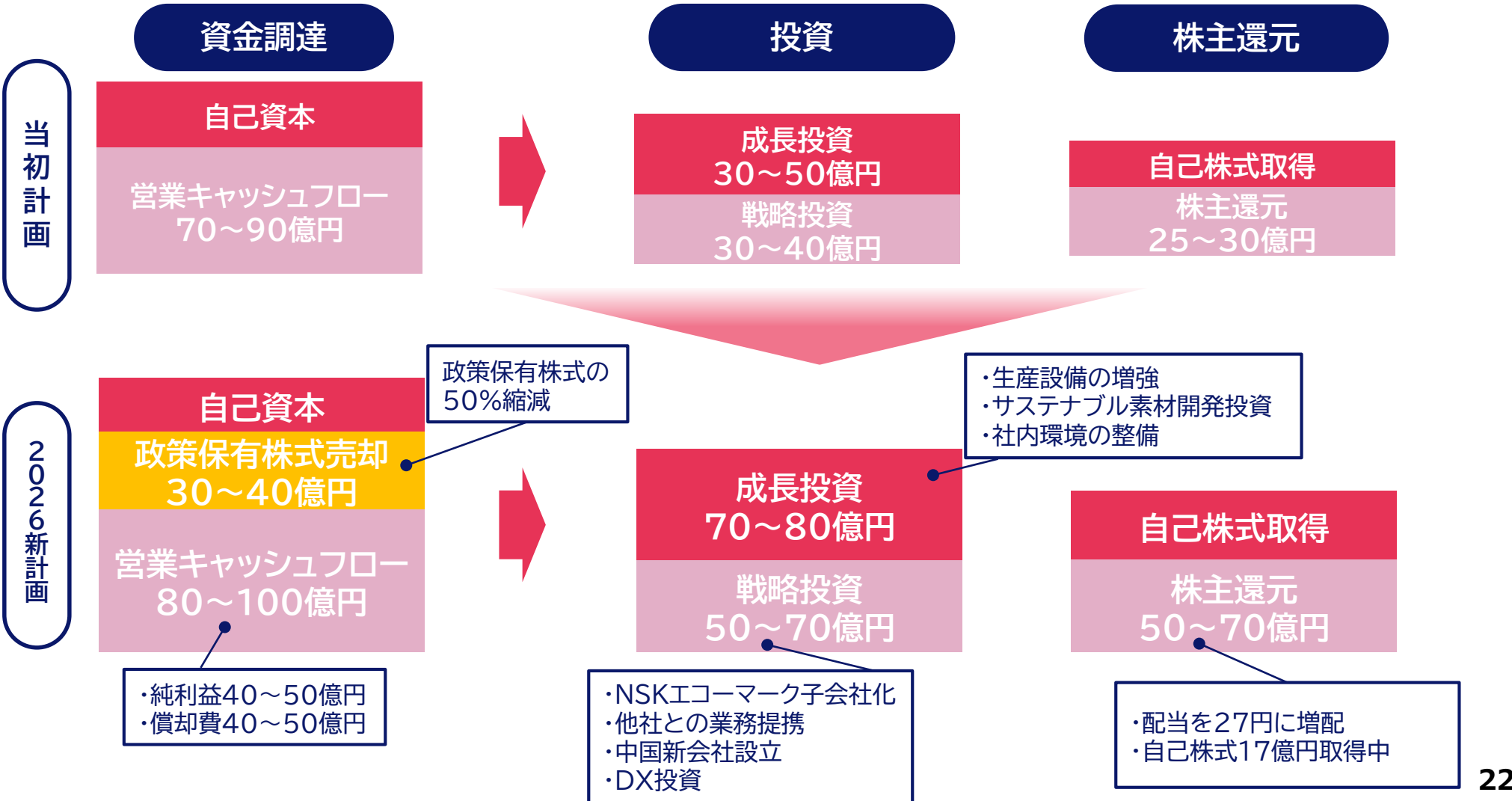
- 革新的工場として次世代素材に対応
- 高効率型工場として既存商品群を最適化
- 次世代型“エコファクトリー”を実現
- マザーファクトリー機能を強化
- 関連技術の開発と商品化

#### 「factoRe100」に込めた想い

- ・factoRe = Factory + Re  
Factory:工場  
Re(接頭語):リフォーム、リデザイン等
- ・100 :創業100周年

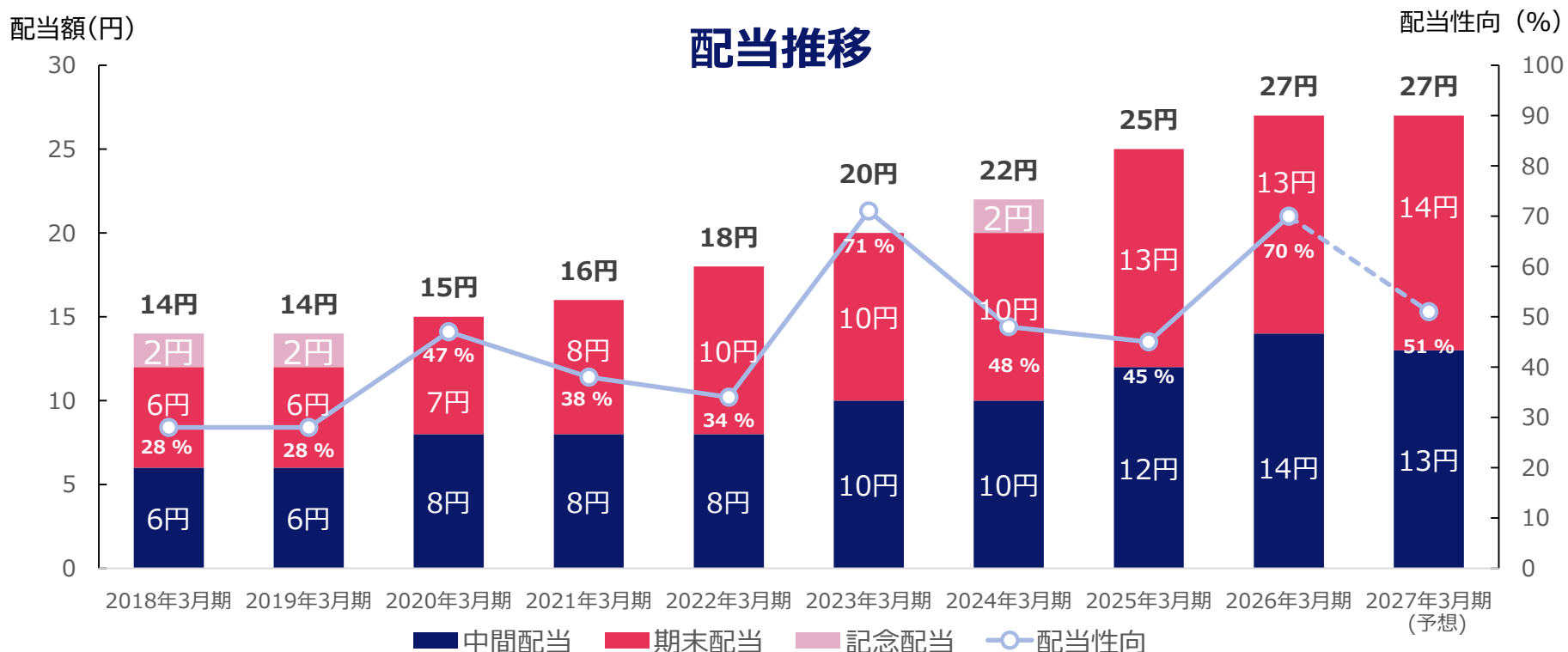
# キャッシュアロケーションについて

自己資本や営業キャッシュフロー、政策保有株式の縮減による資金調達を有効活用し、更なる成長・戦略投資及び自己株式取得等の持続的な株主還元を引き続き実現してまいります。



# 剰余金の配当について

- ◆ 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- ◆ 配当性向について当期純利益の**40%以上**を目安としております。
- ◆ 今期の期末配当は、1株当たり**13円**といたします。年間配当額は前期比2円増配の1株当たり27円となります。



#### 【自己株式の取得について(実行中)】

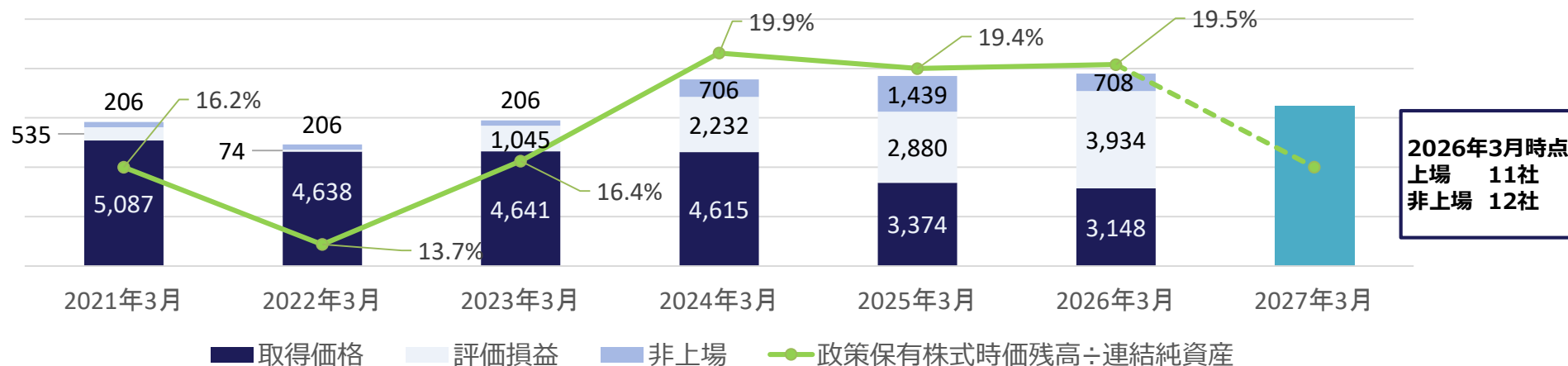
- 取得株式数：200万株 (上限)
- 取得総額：17億円 (上限)
- 取得期間：2025年11月1日～2026年10月31日

# 政策保有株式の縮減状況

当社は企業価値向上と資本効率向上に向けて、更なる成長投資及び持続的な自己株式取得等の株主還元を実現するため、中期経営計画「KFW-2026」期間の3年間で政策保有株式の50%(約40億円)縮減を目指しております。

## ○政策保有株式残高推移

(単位：百万円)



2026年3月時点  
上場 11社  
非上場 12社

## ○売却状況

業務提携への戦略投資等による株式取得

	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2027年3月 目標
取得金額	+223	+10	+2	+502	+735	+506	-
売却金額(簿価)	▲290	▲459	0	0	▲1,243	▲1,462	▲1,300
評価差額	-	▲461	+971	+1,157	+648	+1,233	-
保有株式金額	5,828	4,918	5,891	7,552	7,692	7,791	-

合計  
40億円

# 小松マテール・サステナビリティ・ビジョン SDGsへの取り組み

持続可能な社会の実現に向けた  
取り組みをさらに加速させるため、  
環境目標の数値を見直した。



気候変動対策



循環型社会づくりへの貢献



人々の感動の創造

適用範囲	小松マテール(株)グループ (小松マテール、コマクソン)			
策定期間	2021年度～2030年度			
目的	項目	基準年 2013年度	実績 2025年度	達成目標 2030年度
1.気候変動対策	温室効果ガスの削減：CO <sub>2</sub> 重量原単位	4.74t-CO <sub>2</sub> /t	▲26.8% (3.47t-CO <sub>2</sub> /t)	▲46%
	①水の削減：水重量原単位	275m <sup>3</sup> /t	▲31% (190m <sup>3</sup> /t)	▲40%
2.循環型社会づくり への貢献	②廃棄物の削減：廃棄物重量原単位	0.190t/t	▲67% (0.0650 t/t)	▲80%
	廃棄物のリサイクル率(埋立処理削減)	99.6%	99%	98%以上
	③有害化学物質の削減： 揮発有機溶剤(VOC)使用量重量原単位	0.96t/t	▲28% (0.69t/t)	▲50%
	撥水加工の非フッ素化推進： 非フッ素比率	6.6%	73%	100%
3.人々の感動の 創造	環境配慮商品(mateReco)の拡大： 売上比率	10% (2019年度)	34%	50%

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。